

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都スバル五条店 新築工事	階数	地上2F
建設地	京都市右京区西院西溝崎町1,2,3,13	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年12月25日
敷地面積	2,532.26 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)京都支社
建築面積	1,687.06 m ²	確認日	2018年12月26日
延床面積	2,947.37 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)京都支社

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	92%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもので

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合
緑化計画では自生種の保全に努め、また接道部に植栽することで街並みや周辺環境に配慮した計画とした。

その他
特になし

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
内装材はほぼ全面的にF★★★★を使用	内装仕上材は耐用年数の長いものを使用	外構緑化指数=20%以上
LR1 エネルギー BEIm=0.86	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用により水資源の保護に配慮している	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=92%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される